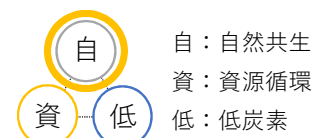


# 島の生態系を守り、共存していくための自主ルール 日本のエコツアーの先駆け



**キーワード** 地方創生／官民連携／観光

**地域・フィールド** 関東  
(東京都) ・ **森 海**

**実施体制** 小笠原エコツーリズム協議会（地元の観光団体や産業団体／NPO／行政等で構成）



## アクションの目的

島の生態系の保全・共存とエコツアーの推進。

## アクションの背景

1988年、日本で最初のホエールウォッチングを実施し、翌年から事業化するにあたって、ザトウクジラを自然な姿で観察できるよう、研究者のアドバイスをもとに自主ルールを定めてきた。

2000年、村が観光振興計画で「エコツーリズムを基軸とした観光振興」を打ち出し、これを受けて2002年に村と産業団体を中心に「小笠原エコツーリズム推進委員会」が設立された。その後、2005年に、さらに広く行政機関やNPOなども参画した「小笠原エコツーリズム協議会」が設置され、2011年に、同協議会がエコツーリズム推進法に基づく組織として位置付けられた。2016年1月に、エコツーリズム推進全体構想の認定を受けた。

## アクションの内容

### 【小笠原諸島におけるエコツアー】

観光事業者等により、ツアー等での自主的な利用のルールが定められている。例えば、ホエールウォッチング自主ルールが定められ、鯨類の生息環境を守るため、ウォッチング船に対して、鯨類の行動を錯乱させるような人工音を発しないこと、対象鯨の300m以内の水域で減速することなどを求めている。このほかウミガメやオガサワラオオコウモリ、アカガシラカラスバト、ヤコウタケなどを保護するための自主ルールが定められている。

エコツーリズム協議会がガイドの人材育成に向け、2011年から「小笠原陸域ガイド登録制度」の運用を開始している。所定の講習の受講を登録の要件とし、小笠原で活動するガイドの能力向上を図っている。（このほかにも東京都や林野庁により、ガイドの養成等を目的とした講習等が実施されている。）

## アクションのポイント

◎村としてエコツーリズムを基軸とした観光振興を打ち出し、島の重要な自然観光資源について、観光関連団体が中心となり「自主ルール」の策定・遵守を進めている。

## アクションの効果

○小笠原諸島への入込客は年間2万人以上が確認されている（2015年度）。

## 小笠原村 産業観光課

〒 100 - 2101 東京都小笠原村父島字西町

○ TEL / 0499-82-3114 ○ E-Mail / sankan@vill.ogasawara.tokyo.jp

○ web / [http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/ecotourism\\_index/](http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/ecotourism_index/)